

回 覧

平成 27 年度 学術部発19号

岐臨技会員・賛助会員 各位

(一社)岐阜県臨床検査技師会
会 長 兼子 徹 <公印略>
学術部 浅野 敦
生物化学分析部門長 日比 敏男

平成 27 年度 岐臨技研究会のご案内

<生物化学分析部門研修会>

日 時 : 平成 27 年 12 月 13 日 (日) 9:30 ~ 15:40

場 所 : [岐阜医療科学大学](#)

テーマ 「免疫検査について：基礎から臨床へ」

内 容

- ①総論 ー免疫検査についてー (講演) 富士レビオ株式会社
- ②特別講演 ー肝炎の検査と治療ー (講演)
岐阜市民病院 中央検査部部長 内木 隆文 先生
- ③ランチョンセミナー ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
- ④討論会 ー各施設における、精度管理、検査方法 (再検基準など) ー
- ⑤各論① ー甲状腺関連検査についてー (講演)
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- ⑥各論② ー血中薬物濃度測定 (TDM) についてー (講演)
アボット ジャパン株式会社

*参加申込方法

- ・参加を希望される方は、施設名、会員番号、氏名を記入の上、以下のメールアドレスに申込みをお願いします。
- ・申込み期限：**11月27日(金)** (定員になり次第締め切らせていただきます。)

メールアドレス：gifumeneki2015@yahoo.co.jp

参加費 : 岐臨技会員は無料です。県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円を資料代として徴収し領収書を発行します。



連絡先 大垣市民病院 診療検査科 日比 敏男 (214049)
TEL 0584-81-3341

「免疫検査について：基礎から臨床へ」

生物科学分析部門の2015年特別企画第二弾は免疫検査について勉強します。

免疫検査は同じ基準値でも機器や方法、試薬等によって測定値が異なり、医師に質問されて困った事はありませんか？高い試薬コスト、精度管理や再検、パニック値も生化学検査の様にいかない場合がありますよね。また、臨床の先生はどのように結果を診ているのでしょうか？

是非この研修会を、これらの疑問を解決する糸口にしましょう！

① 「免疫検査の総論」

測定法から単位について。日頃あたりまえに使っている検査。ここでもう一度、基礎から学びましょう。学生の頃とは違った目線で学習です。非特異反応やピットフォールについても聞いてみましょう。

② 「特別講演」

岐阜市民病院 中央検査部部长 内木隆文先生に肝炎の検査と治療についてお話していただきます。

最近、B型・C型肝炎について多くの勉強会が開催されていますが、臨床の先生に直接お話が聞ける良い機会と思います。内木先生の講演はとても分かりやすいと評判です。超おススメ企画です。

③ ランチョンセミナー

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社様に講演していただきます。

④ 「討論会」

前回の生化学の時も大好評でした。

他の施設ってどうしているの？精度管理、再検基準等をお話します。

毎日の測定で疑問に思っても聞けない事を、ぜひこの場で討論しましょう。事前に質問も受けます。匿名でも大丈夫です。あなたの疑問はみんなの疑問です。

⑤ 「甲状腺関連検査」

本を読んでも、患者の結果を診るとわからない事ばかり。その不安を本日解決します。甲状腺検査について語らせたらこの人という方に説明してもらいます。

⑥ 「血中薬物濃度測定（TDM）」

ありそうでなかった企画です。明日からきっと結果を診る目が変わります。

* 今回の免疫検査企画は部門員の経験から選んだ、ベストセレクション。

師走の日曜日、大掃除はしなくても新年は来ますが、この研修会を逃したら、未来は来ない！なんて大袈裟かもしれませんが、今すぐ参加申し込みをしてください。討論会の質問も忘れずに！

メールアドレス：gifumeneki2015@yahoo.co.jp

施設名、会員番号、氏名を送ってください。